

創部初 関西リーグ 5 連覇達成

天理大学ラグビー部は11月29日、京都市の宝が池球技場で「ムロオ関西大学ラグビーAリーグ」の優勝決定戦に臨み、同志社大学を相手に54・21と圧倒。創部初のリーグ5連覇（通算12回目の優勝）を達成し、11月21日からの第57回「全国大学ラグビーフットボール選手権大会」への出場を決めた（写真）。

前半、14・17とリードを許したものの、後半は戦い方を修正して実力を発揮、43・17で勝利した。全勝で迎えた優勝決定戦の相手は、同じく全勝の伝統校・同志社大となつた。

後半も主導権を握った天理大は猛攻を続け、リードを保ったままノーサイド。結果、54・21の快勝で創部初の関西リーグ5連覇を達成するとともに、関西1位として大学選手権への出場を決めた。

なお、同リーグの5連覇は、1984年までの同志社大の9連覇以来となる。

小松節夫監督（57歳）は「リーグ戦が開催されたことも、その中で優勝できたことも、多くの方々の応援のおかげだと思っている。全国では、関西の優勝チームとして恥ずかしい試合をして、日本一を目指したい」と語った。

松岡大和主将（4年）は「アタック、ディフェンスともに自分たちから体を当てていこうと、メンバーと意識を共有して試合に臨んだ。チームとして課題もたくさんあるが、選手権までの期間にしっかりと準備し、日本一という結果で、支えてくださった方たちへ恩返しをしたい」と話した。



天理大ラグビー部

第57回「全国大学ラグビーフットボール選手権大会」の天理大の初戦は12月19日、東大阪市の花園ラグビー場で行われる準々決勝で、流通経済大学と筑波大学の勝者と対戦する。（9日記）